

要請番号 (JL63620A29)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ルワンダ	G131 空手道	20～45歳のみ	個別	交替2代目	2年	・2020/2・2020/3・2021/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ・文化省

2) 配属機関名 (日本語)

ルワンダ空手連盟

3) 任地 (キガリ市) JICA事務所の所在地 (キガリ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は2008年に設立され、2010年に政府によって公認されたルワンダ唯一の空手協会である。日本の複数の空手流派の受け入れ先となっている。委員会によって運営され、ルワンダ空手協会のもとに7つの団体があり、会員数は約200名である。配属先の年間予算は5万9千米ドル。2015年まで、ロシア人指導員も指導にあたっていた。2009年には松濤館の日本人指導者を招いたことがある。空手国際大会にもナショナルチームの選手を送り出している。過去にJICAボランティア1名が2016年から2年間活動を行っており、2016年10月にはオーストリアでの世界大会にコーチとして同行した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ルワンダにおいて、多くの人に空手は認知されているものの、地方での指導者の不足も影響して競技人口はまだ少なく、世界で戦うには選手の技術レベルも不十分である。今後の空手人口の増加に向けて、効果的な普及活動・空手の紹介が必要である。2016年10月に世界大会に代表メンバーが参加したが、世界との力の差を見せつけられた。2020年の東京オリンピック出場を目指して更なる技術レベルの向上のため、後任JVの要請がなされた。ルワンダ空手協会会長は、かつて日本の空手家の指導を受けた経験があり、現在も日本人との交流があり、非常に協力的である。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- ルワンダ・ナショナルチームに技術指導を行う。
- キガリ市内の道場において、主に空手初心者に対して指導を行う。
- 空手の普及活動、近隣郡での空手紹介、学校を巻き込んだイベント等を行う。
- キガリ以外の地方に赴き、空手の指導を行う。
- ナショナルチームの選手が参加する国際大会にコーチとして同行する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

空手着、道場、拳サポーター、マウスピース、ボディプロテクター、シンガード、インステップガード

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ルワンダ空手協会役員(3名、3段及び4段有段者)

活動対象者:

・各道場生徒数(約30名)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(空手道三段)

[学歴]：(大卒) 備考：査証取得に必要なため

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(13～30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(不安定)

【特記事項】

- ・ 段位(もしくは指導経験)を証明する英文の証明書をルワンダ政府に提出する必要があります。
- ・ JICAの判断により訓練言語をフランス語に変更する場合があります。

【類似職種】

- ・ 体育
- ・ 青少年活動

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。